

平成30年度 第2回 ファシリティマネジメント（FM）研究部会
自治体等FM連絡会議千葉県地域会 （要録）

日 時	平成31年2月1日（金）14時00分～16時30分
場 所	酒々井町中央公民館 講堂
出席者	【部会員】千葉県、千葉市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、成田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、富津市、浦安市、袖ヶ浦市、印西市、山武市、酒々井町、白井市、旭市、習志野市、佐倉市（21自治体48名） 【その他】財務省関東財務局（6名） 佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合（3名）
内 容	1 開会挨拶 ・ 部会長（佐倉市）挨拶 ・ 会場自治体（酒々井町長）挨拶 2 発表 ・ 「さくら斎場の修繕計画について」 ・ 「さくら斎場 ESCO 事業について」（葬祭組合） ・ 「地域における国公有財産の最適利用について」（関東財務局） 3 閉会挨拶 ・ 自治体等FM連絡会議千葉県地域会代表幹事（流山市）挨拶

1. 開会挨拶

- ・ 部会長（佐倉市）挨拶
佐倉市資産管理経営室 室長 小菅 慶太
- ・ 会場自治体（酒々井町）挨拶
酒々井町長 小坂 泰久氏

2. 事例紹介

- ・ 「さくら斎場の修繕計画について」
- ・ 「さくら斎場 ESCO 事業について」
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合 織田 勝広氏、相京 夕起夫氏

- さくら斎場について、中期施設維持管理計画と年度別短期施設維持管理計画を作成。
- 365日利用される施設、迷惑施設であることからくる地域住民への配慮、人生終焉の場での特別なサービスなど斎場の特殊性がある。
- 歳入の7割が構成市町からの負担金であり大きく依存しているが、使用料の値上げは難しい。
- 平成23年3月より構成市町によりファシリティマネジメント推進検討会を発足させ、過去28回開催している。
- 経費の最小化と効用の最大化のため、老朽化施設の更新にE S C O事業を導入した。
- 設備更新と維持管理相当額を光熱水費支出に含み入れる、出っ張りE S C O（佐倉市方式）を採用。

・「地域における国公有財産の最適利用について ～財務局の取り組み～」

「国公有財産を有効活用した地域連携の事例」

「地域における国公有財産の最適利用等について」

関東財務局 管財第1部 第1国有財産調整官 小島 雄樹氏

関東財務局 千葉財務事務所 管財課 鈴木 優氏

- 財務局の業務は、大別すると財政、国有財産、金融、経済調査、広報相談の5種がある。
- 平成28年度末の国有財産現在額は約106兆円あり、行政財産が23,4兆円、普通財産が82.5兆円である（道路、河川等は含まない）。
- 国有財産は、財産を所管する各省庁において国有財産台帳を備え、数量、価格等が管理されている。
- 国・地方ともに財政事情の厳しい中で、公的施設の耐震化や老朽化への対応を求められており、国有財産の総括機関である財務局と地方公共団体が連携しながら、効率的な再編と最適化を図る。
- 地域の課題解決に向けて地方公共団体や省庁と連携し、中長期的な観点から、庁舎をはじめとする公用財産等の最適利用に向けて調整を行っている。

3. 閉会挨拶

・自治体等FM連絡会議 千葉県地域会 代表幹事（流山市）挨拶

流山市総務部財産活用課ファシリティマネジメント推進室 室長 井上雅之氏